

# 令和3年度 事業計画

## 1. 基本方針

わが国の総人口は、平成20年度をピークに減少に転じており65歳以上が占める高齢化率は28%に達しており、15年後には33%を超えて人口の3人に1人が65歳以上になると推計されています。

神石高原町においても、人口が9,000人を割り込み高齢化率が48%弱まで達しており、若年労働者不足が深刻な状況の中で高齢者が現役として果たす役割が益々重要になっています。

この状況下で、高齢化の進展によりシルバー人材センターへの期待が高まる中において、新型コロナウイルス感染拡大が経済活動や雇用面において大きな影響を及ぼしていることは否めず、今なお終息が見通せない状況にある中で、令和5年10月に導入予定とされている消費税の「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」についても、シルバー事業に及ぼす影響が極めて大きいことから、安定的なセンターの事業運営を可能にするための措置を要望しているところです。

当センターのシルバー事業は、公益社団法人に移行し11年目を迎え『自主・自立、共働・共助』を基本理念に、統一テーマ「親切・丁寧・誠実な就業で、地域から信頼され地域の期待に応えるシルバー」をめざして、身の丈に応じた持続可能な事業展開を行っていきます。

そのため、シルバー人材センターが、「生涯現役社会」の実現に向けた役割を担うとともに、地域に貢献するセンターとして、存在感を発揮していくことが必要であり、多様化する地域における人手不足分野等の取り組みに対応できるよう事業体質の改善に努めながら、高齢者として新たな活躍の場の確保をめざして事業実施計画に反映していきます。

## 2. 事業実施計画

### (1) 普及啓発活動《公1》[1] 4 - (1)

○センターが行う普及啓発活動は単なる宣伝や広告と異なり、センターという組織体が持続的また長期的な基盤に立って、町民の信頼と理解が得られるよう努めます。

○役職員及び会員が一体となって、シルバー事業の意義と基本的な理念及び取り組み等を積極的に町内へ周知します。

○広報紙「やまびこ」、ホームページ、チラシ等を活用し、町民まつりや各種イベントにも参加することにより、新規入会者の募集を行うとともに、シルバー事業の情報提供と情報収集を行います。

## **(2) 安全就業の徹底・適正就業の推進**《公1》〔1〕4 - (2)

- 「安全はすべてに優先する」を合言葉にして、「就業中の事故防止」に加えて「就業途上における交通事故防止」について積極的に取り組みます。
- 基本的には「毎月17日を安全の日」と定めて、6月と7月の集中期間を加えた就業現場のパトロールを実施し、猛暑の対応策や熱中症の予防を含む安全意識の普及・啓発に取り組みます。
- 安全就業標語の募集により優秀作品を選考して公表することにより、安全に対する意識の高揚に努めます。
- 適正就業ガイドラインをより実践するため、雇用とみなされる就業については、就業先の理解を求めるとともにシルバー派遣事業の活用を図ります。

## **(3) 就業開拓・就業拡大活動**《公1》〔1〕4 - (3)

- シルバー事業は、就業機会の拡大が不可欠であり、地域から信頼され期待されるセンターとして地域の就業ニーズ等の把握を行い、行政・民間企業・任意団体・法人等と総合的な調整に努めます。
- 地域に貢献し地域に期待されるセンターとして、会員・役職員による高齢者にふさわしい1人1就業開拓をめざします。
- シルバー事業は、本来、請負や委任の受託事業を主体に推進しますが、新たな就業として事業所等の指揮・命令を受けて働くシルバー派遣事業の推進を行います。

## **(4) 相談・情報提供**《公1》〔1〕4 - (5)

- 町内で働く高齢者のためのワンストップサービスセンターとして、高齢者に雇用、就業、職業能力開発、ボランティア活動、自営、就農等に係る相談や情報提供を行っていきます。
- 入会を希望する高齢者への説明及び面談に当たっては、毎月第3火曜日に入会説明会を設け、希望によっては随時説明会を行うこととし、シルバー人材センター事業の理念やセンターの制度を十分に説明するとともに、相談に丁寧に対応します。

## **(5) 社会参加活動の推進**《公1》〔1〕4 - (6)

- ボランティア活動を希望する高齢者を対象に「できることを」「できる範囲で」を合言葉に呼びかけて社会参加活動を行います。
- 「全国シルバーの日の協賛活動」「通学児童の安全見守り活動」「高齢者に対する生活サポート声かけ活動」「防犯パトロール活動」など、事故の未然防止と地域に貢献できる活動を展開します。

## **(6) 会員拡大の推進**

○第3次中期計画の目標会員数319名に基づき、1会員1人の入会の輪を広げて前向きな入会促進に努めます。

○会員拡大は、シルバー事業の根幹をなすものであり、年ごとに高齢化していく会員の就業を手助けできる後任の会員確保が欠かせません。その解決策として、会員一人ひとりが入会の輪を広げることによって、就業の負担軽減や就業効率アップができるように努めます。

○就業を離れた高齢会員には、就業を伴わない「ゴールド会員制度」の周知を図り、特別会員として活動や交流ができるように理解を求めます。

○女性会員の拡大については、新たな活動分野に力点を置くことにより増加につなげていきます。

## **(7) 組織活動(地域班・職群班)の体制強化**

○地域班は、会員相互の連帯意識と親睦を基に、センターと会員の連絡体制を整えて、事業効果を高めて地域の発展をめざします。

○職群班は、会員の共働・共助を基本に、安全を優先した作業遂行を促進して事業効果を高めることをめざします。

○地域班及び職群班の充実と連携を図り、地域に根ざした事業展開と発注者のニーズに迅速な対応ができる体制の強化をめざします。

## **(8) 会員の資質向上**

○地域の信頼に応えるため、「愛されるシルバー会員」をめざして、会員の資質向上に努めます。

○発注者から満足いただける技能やマナーの向上に努めて、シルバー会員に限らず、町内の高齢者全員を対象にした講習会を開催し、その他各種講習会への参加も呼びかけて、個々の技術の向上と資質の向上に努めます。①安全就業講習会 ②剪定実技講習会 ③刈払機講習会 ④施設清掃講習会 ⑤学童保育研修会 ⑥福祉・家事援助研修会 ⑦地域班・職群班研修会

## **(9) 安定的財政運営基盤の構築**

○国、自治体の厳しい財政運営の中で、当センターの財政運営は補助金への依存度が高いことから、効率的な投資、事務経費の節減、運営費等の分析・検討・見直しを行い、安定的な自主財源比率の拡大に努め、関係機関との連携を密にして適正・効率的な法人運営を行います。

○公益社団法人として、公益性を重視した事業運営が重要であり「不特定多数の者の利益に供する公益事業の展開」など、公平・公正・透明性が求められる

事業運営と財政基盤の明確化及び適正な財産管理に努めます。

#### (10) 学童保育事業の充実

○町委託事業である放課後児童健全育成事業「やまびこクラブ」は、保護者が労働等により留守になる家庭の児童が、放課後から夕方までと長期休みの時間を、家庭的な雰囲気の中で過ごすところで、児童の基本的な生活習慣をしつけるとともに、集団生活を楽しめる子供の育成と、遊びを通して自主性・社会性・創造性・協調性を身につけることなどを支援していきます。

○子育て応援課の指導による「指導力向上の研修会」を行い、地域で子育てをする視点に立って、安心・安全な保育内容の充実と指導体制の充実を図ります。

○指導員の情報共有により、学校でも家庭でもなく、学校の先生でも保護者でもない、子どもたちにとって大事な生活の場として「やまびこクラブ」の充実に努めます。

○やまびこクラブ三和館と他の3館において、土曜日の開所を行っていますが、保育時間延長については、町の子育て支援方針を考慮して今後も指導員としての対応を協議していきます。